

# 今を未来に

## 最近の子どもたちの様子から

### 【今日はお弁当給食】10月22日

縦割り班を使ったお弁当給食が行われました。この日、あなたは暑さを感じ、日陰は西風で少し寒く感じたためか、南校舎側の池の周りや運動場を降りたすぐのメタセコイヤの木の下が場所としては人気がありました。

学校では、お弁当箱を持って来て、縦割り班でいっしょに給食を食べられるように「お弁当給食の日」を計画しています。

いつもの教室で食べる給食も美味しいけど、時々違った仲間と食べたり、お話ししたりすることは、給食に楽しさがさらに加わって、子どもたちはとても嬉しそうでした。



### 【3年生算数の授業】(教育実習開かれる)10月23日

10月1日から26日の4週間、3年A組を中心に、本校卒業生の市川拓海さんが、教育実習を受けていました。小さいころからラグビーをしていて、たくさんの指導者と出会って、子どもたちに関わることができる仕事がやりたいと思われるようになって、教員になることを決意し、母校で教育実習を受けることにされたそうです。

実習の授業は主に算数でした。児童への指示の出し方、課題の提示、授業の進め方など、短期間の実習期間の中で、多くのことを吸収された様子でした。子どもたちも休み時間にいっしょに遊んでくれたり、体育の授業をしてもらったりして、とっても嬉しそうでした。特練の授業でも、市川拓海先生の言葉をしっかり聞き取ろうと、とっても協力的でした。そんな子どもたちの反応を感じて、市川拓海先生は職員へのお別れ・お礼の挨拶の時に、「益々、教員になりたいと思うようになりました。」とお話されていました。3年A組の子どもたちに感謝!



### 【サツマイモほり】10月25日

今年も保々の自然に親しむ会のみなさんにお世話になって、1年生・2年生の子どもたちが、サツマイモほりを体験させていただきました。竹べらなどをお借りして大きく育ったサツマイモを傷つけないように掘り当てていました。その後、保々の自然に親しむ会の方があらかじめほってくださっていたサツマイモと丹波の黒豆を蒸かしたものをみんなでいただきました。

「ほくほくでおいしい。」「めっちゃ甘い。」「いつもは塩をかけるけど、塩がなくてもおいしい。」「枝豆も栗みたいな味がする。」そんな会話がいたるところで聞かれました。

そして、その後「これなーに?クイズ」が出されました。子どもたちがよく知っている大根、カボチャ、カキなどに交えて、めったに見ることがないコンニャ



ク芋やバナナの赤ちゃんなどもクイズに出してもらいました。

さらに、今年はサツマイモの苗を植える時に、ジャンボカボチャ（アトランティックジャイアント）も植えてもらってあって、一番大きくなったものは40kgを超えていました。今年は、猛暑と台風の被害もあって、大きく育てることは実はとっても大変だったそうです。一番大きなジャンボカボチャは、今昇降口の掲示板前に展示してあります。

### **【5年生自然教室】10月31日・11月1日**

5年生は、先週31日・1日の2日間をかけて、少年自然の家をお借りして、自然教室に行ってきました。

1日目のメインは御在所岳登山でした。説明会から1カ月、学校の階段の上り下りで体を鍛える子、バスに酔わないようにブランコに乗っている子を、何度か見かけてはいましたが、全員でやっている様子ではなかったので、若干不安には思っていました。今年も参加者全員登頂（お一人体調不良で欠席）が達成できました。出発する前、この保々では小雨が降っていましたし、現地でも黒い雲がかかっていたのですが、歩いている時は小雨に降られることはほとんどなく、逆に陽ざしがあって、四日市の街並みを眼下に見下ろし、景色も楽しみながら登頂することができました。頂上付近は気温5℃くらいだったのですが、そのことで必要以上に水分をとる子がいなかったこと、休憩も予定より短くすんだこと、他学年に比べて10人ほど少ない人数で、班の前後が大きく開かなかったこと、

何より弱音を吐く子がほとんどいなくて、遅れがちな子をみんなで励まし合いながら登頂できたことが、登頂した達成感を倍増させてくれたように思います。

その後、少年自然の家に入所し、夕飯をいただきました。この時、なかなか準備が進まず、係の子もどう準備を進めるように指示を出してよいのか、またその周りの子どもどのように係の子を助けてよいかわからず、時間だけが過ぎていくということがありました。が、キャンプファイヤーの時刻を大きく遅らせることなく、夕食の時の自分たちを振り返り、反省をして、気持ちを切り替えてみんなで盛り上がり、係の人に協力する姿がそこにはありました。もちろん、キャンプファイヤーの係の子どもたちが、てきぱきと進行してくれたことで、みんなの心に残るキャンプファイヤーにできたのだと思います。

2日目は日の出ハイクから始めました。前日と違って、伊勢湾の方は適度に雲が出ていて、その雲に当たるオレンジの光が、だんだんまぶしくなる中、顔を出してくれた太陽に、どの子も感動している様子でした。まだまだ眠たそうな表情をしていた子の顔が、一瞬にしてキラッと輝いたのが印象的でした。日の出をバックにクラス写真を撮り、朝食をいただきに子どもたちは少年自然の家に戻りました。朝食の準備では、昨晚の夕食の時に学んだことを活かして進めることができました。

食後、すぐ部屋に戻り、片づけをして、いよいよ最後のメイン行事「飯盒炊飯」に取り掛かりました。事前にかまどで火をつける練習はしてありましたが、どの班もうまく火起こしをして、カレーの具材も始めこそ大きく切る班もありましたが、どの班も小さく切り直し、とってもスムーズに調理をすすめることができました。飯盒では火にかける前に水が入っていたの？と疑いたくなるような班や、シーチキンを事前に炒めようと鍋にシーチキンを投入するまではよかったものの、次の具材や水を入れる準備がされていなくて、シーチキンや野菜が焦げはじめる班など、多少のハプニングはありましたが、完成したカレーはどの班もとっても美味しそうに出来上がっていました。飯盒炊飯で起こした火を使って焼き芋も同時にしましたが、これもどの班もおいしく焼けていました。

自然教室の体験を通して、自分で考えて動く、声をかけ合う、うまくいかない時こそ誰かが挽回する、そんな力が発揮できた5年生でした。自然教室、大成功！！でした。

